

実験計画法の基礎と活用法

～データを効果的に活用する方法をわかりやすく伝授～

【LIVE配信】

◆日時:2024年11月29日(金) 10:00～16:00

◆会場:自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料:1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき **46,200円(税込)**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で 55,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:村島技術士事務所 所長 村島 繁延 氏

- ・実際のデータ解析や実験を計画する場面を具体的に想定し、あたかもケーススタディのように受講者目線でわかりやすく進めます。
- ・とにかく、役に立つ手法に重点をおきます。伝統的手法にはこだわりません。
- ・実践で間違いやすい点、誤解の多いところにも重点対応、失敗させない実験計画を伝授。
- ・「難しい話を簡単に、簡単な話はより深く」をモットーとしたセミナーにします！

1. 実験計画法と分散分析の考え方基本

1-1 実験計画法でよくつかわれる

統計(分布、検定、推定)の基礎

1-2 分散分析の考え方基本

2. 二元配置における分散分析

2-1 一元配置、多元配置、直交表実験の基本

2-2 分散分析の計算基本(一元配置で説明)

2-3 二元配置の基本的なモデル:繰り返しなし

2-4 繰り返しある場合の解析

2-5 寄与率の算出方法

3. 直交表による実験計画法

3-1 直交の意味と直交表と交互作用

3-2 直交表実験の解析手順

4. 品質工学(タグチメソッド)との関連性、

違いからの手法適用留意点

4-1 交互作用をどう考えるか? ロバスト設計とは?

4-2 SN比の考え方とパラメータ設計概要

5. 基本の直交表実験で対応できない場合の方法

(実践的な方法3選)

5-1 2水準系や3水準系から4水準をつくりたい(多水準法)

5-2 3水準系の一部に2水準を入れたい(擬水準法)

5-3 異なる因子同士で各水準を対比変更したい

(水準ずらし法)

・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。

・ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。

・お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。

・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。

・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談(他社に知られたくない)のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

『実験計画法【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>